



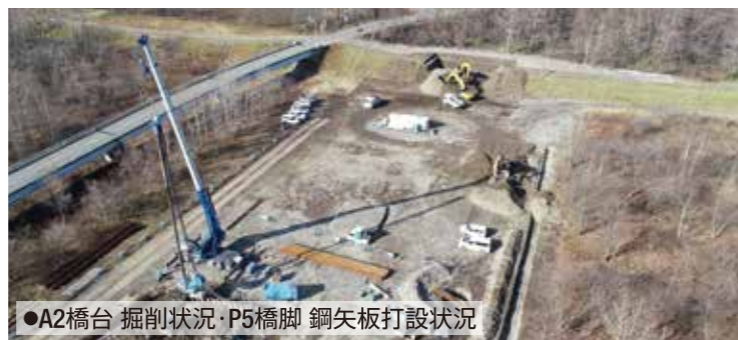


●施工状況 2月9日撮影

上札内帯広線 上札内橋架換工事(下部工)(補正・明許)外



●仮築堤 ICT建機による法面整形状況



●A2橋台 掘削状況・P5橋脚 鋼矢板打設状況



●P6橋脚 縦壁 コンクリート打設状況



●法覆護岸 大型連節ブロック布設状況

- 工事名 : 上札内帯広線 上札内橋架換工事(下部工)(補正・明許)外
- 発注者 : 十勝総合振興局 帯広建設管理部
- 施工業者 : 萩原建設工業株式会社
- 施工場所 : 河西郡中札内村上札内
- 進捗率 : 91.85% (令和5年2月末)
- 施工期間 : 令和4年7月1日～令和5年3月30日

土木

上札内橋は老朽化に伴い架け替え工事を実施していますが、工事開始より3年目となる本工事では、A1・A2の橋台2基、P5・P6の橋脚2基、橋台保護の法覆護岸、CCTV設備のケーブル移設などが主な工事となります。

橋台・橋脚の施工は、渇水期を待っての作業開始となり、厳寒期の短期間で同時に4箇所の作業を進めなければならない、円滑な進捗を図るため、発注者のもとより河川管理者などの各関係機関との連絡調整を行うとともに、協力業者との綿密な工程打合せ、2台の鋼矢板圧入機(クラッシュパイラー)による仮設鋼矢板の打込みなど、施工体制の強化を図り工程短縮に取り組みました。9月26日より築堤掘削に伴う仮築堤に着手し、渇水期となる11月1日より橋台・橋脚の施工を開始し、2月24日にA1・A2橋台の法覆護岸、3月8日にP5・P6橋脚の埋戻しを完了させることが出来ました。

雪解けが進む中、残工事も仮築堤の整形や跡片付けなど残りわずかとなりましたが、引き続き安全作業に心掛け無事故で完了出来るよう頑張ります。

現場代理人:高橋 信護(写真:右から2人目) / 監理技術者:星越 晃自(写真:左)
担当技術者:外尾 謙一郎(写真:左から2人目)・三谷 大輝(写真:右)・千葉 百華(写真:中央)



●施設外観

豊頃中学校改築工事(建築主体工事)



●アリーナ



●普通教室



●理科室



●図書・PCコーナー

- 工事名 : 豊頃中学校改築工事(建築主体工事)
- 発注者 : 豊頃町
- 施工 : 岩田地崎・萩原・大進特定建設工事共同企業体
- 施工場所 : 中川郡豊頃町中央若葉町22-1、22-2
- 設計・監理 : 日本都市設計株式会社
- 施工期間 : 令和3年9月10日～令和5年2月15日

本工事は、豊頃小学校と新築する豊頃中学校を渡り廊下でつなぎ小中間での連携を取り教育環境の充実を図るための工事です。

特徴は、1階・2階とも幅4mの渡り廊下で接続され廊下沿いには児童生徒、教職員がふれあう空間として多目的スペースを設置しています。また、2階廊下のアリーナ側には大きなガラス窓を設け、屋内運動場の様子がうかがえるようになっています。

私は、主任技術者として令和3年10月～令和5年2月まで工事に携わってきました。本工事は、企業体により構成されており私自身初めての大きな現場で不安ばかりで、初めてのことが多かったのですが、JV、職人の方に恵まれ無事に竣工することができました。これから、小中学生の方たちが使用して、たくさんのことを学んでくれることを願っております。 主任技術者:金平 亮太



建築

産学官CIM・GISセミナーに参加いたしました!!



写真提供: 一般社団法人北海道産学官研究フォーラム

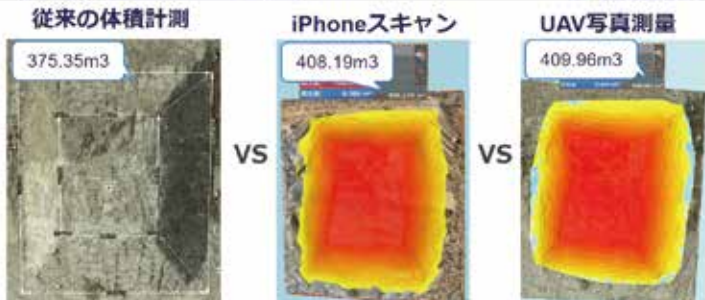


写真提供: 株式会社北海道建設新聞社

従来計測 vs iPhoneスキャン



iPhoneに搭載されたLiDARセンサー



3月15日(水)、一般社団法人北海道産学官研究フォーラム(産学官CIM・GIS研究会)様が主催する『第24回 産学官CIM・GISセミナー』が、初の地方開催となる帯広(とかちプラザ)にて開催されました。十勝管内業者から数名が登壇し、当社からは岩間輝(土木部)が登壇しました。

本セミナーは、i-Construction並びに令和5年度より原則適用化となるBIM/CIMに関する政策、技術動向、取組事例の紹介を通して、各関係主体が取組む建設DXの推進に寄与することを目的として開催され、オンラインでの参加を含め、約400人が受講しました。

岩間は、「建設業界におけるiPhoneLiDAR計測活用の可能性」と題し、iPhone14PROに搭載されているLiDARセンサーを利用した3次元計測について紹介しました。iPhoneによる3次元計測は計測からデータ処理、計測情報共有までをiPhone1台かつ1人で完結させることが可能となっているため、重たく大型で設置に時間のかかる従来の機材と比べると、計測作業にかかる時間や手間を削減することが可能となっています。スキャンレンジ5mと計測可能範囲が狭いことや精度の低さ等の弱点に触れつつ、令和4年度より小規模現場においてiPhoneによる計測が可能となったこと、標定点により精度を上げることが可能であることから小規模現場におけるiPhone活用の可能性を説明しました。

ドローンやレーザースキャナによる3次元測量にも精通しており、橋台の出来形の3次元データによる管理を北海道開発局に提案・実現させたことやICTに関する情報収集・発信を自主的にやっていることから日経クロステック様出版の「日経コンストラクション(2022年10月号)」に掲載させていただきました。

当社社員へ登壇の機会をいただきました産学官CIM・GIS研究会様及び日経クロステック様に感謝するとともに今後も業界の発展に貢献できるよう邁進してまいります。

カメラ 今月の表紙

撮影: 萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

「おめでとう」や「初めまして」の言葉が飛び交う4月の表紙はエゾフクロウです。春の温かな日差しの中、柔らかくなったサクラの蕾の奥に眠たそうなエゾフクロウを見つけました。
唐の詩人孟浩然が詠った『春暁』の冒頭部分「春眠暁を覚えず」は有名ですね。意味は「春の眠りは朝が来たことに気付かないほど心地よく、寝過ぎてしまう」そうなんです!春は眠たいのです。なーんて言っても、朝寝坊の遅刻は許してくれませんよ。早寝早起きして、春からしっかり生活リズムをつくりましょう!



ハギワラ (仮称) 美味しんぼ倶楽部

札幌市・白石区北郷 特一竜(とくいちりゅう) ☎011-872-1843

第1回目のラーメン屋さんの訪問は、昭和43年創業のラーメン特一竜さんです。
昔ながらの札幌ラーメンの味を一代で54年間守り続けている名店。注文は、オススメの『なつかしラーメン(醤油)』。麺をスンドウに入れお湯の中で麺を踊らせ、最近では見かけない平ザルで麺を回しながら湯切りをし、ドンブリに流し込む。油少な目でもアツアツのスープで、あっさりの中にも自家製仕込み醤油の深い味わいがあり、根コンプだしのほんのりした甘みが口の中に溶け込み、平ザルで湯切りした麺は、スープの旨味が絡みます。チャーシューは2枚。薄めの味かと思いきやしっかりと味が染みている。また、スープの旨味を吸った昔ながらの“おふ”がたまたなく良い。ランチには、塩おにぎり1個も付きますよ。
これぞ札幌ラーメンの“歴史を物語る味”と言えるラーメンでした。

麺 中太/縮れ 製麺会社 西山製麺 こつてり あっさり
スープ タレ ▶ 自家製仕込み醤油 種類 ▶ 豚・鶏・魚介(カツオ・サバだし)・根コンプ・しょうが・野菜

住所: 札幌市白石区北郷1条4丁目3-1 ※JR白石駅・北郷側出口から徒歩5分
営業時間: 11時~17時30分 定休日: 月曜日 席数: 21席(カウンター12席/テーブル8席) 駐車場: 9台

萩原建設工業・大川 令(おおかわさとる/所属: 札幌支店 営業部)
ゼネコンの営業マンとして津々浦々、数々のラーメンを経験。ラーメンへのこだわりは社内イチ。



なつかしラーメン(醤油) 750円

